

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5 年 3 月 7 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490101080		
法人名	フライングスタート合同会社		
事業所名	グループホームひだまり		
所在地	〒739-1732 広島市安佐北区落合南4-41-21 (電話) 082-845-3070		
自己評価作成日	令和5年2月13日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490101080-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490101080-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年3月6日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>現在、当施設には2名の看護師が在籍しています。介護のスキルアップを行っており、今まで以上に技術面での向上に力を入れています。それと同時に、緊急時における対処法などを身に付けていける様に努めています。利用者様と利用者様のご家族としっかりコミュニケーションをとり、信頼関係をしっかりとつくっていく事にも力を入れています。</p>
---

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>コロナ禍であってもできるだけ家族との面会が出来るようにと、体制を整えて対応している。手作りの食事とヨーグルトを毎日提供し、誕生日や季節の行事では手作りケーキなどを提供している。栄養士が月1回、訪問して利用者の栄養状況をチェックして栄養指導を行っている。常勤看護師が医療的な観点から、寝たきり利用者に対するベッド上での全身清拭・洗髪、看取りのケアなどについて職員を指導している。また尿路感染症や白癬の予防など感染症対策にも取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症では、感染拡大防止に取り組んでいる。事業所看護師と訪問看護師が連携して医師の指導のもとに看取りを行い、2年間に2例の看取り事例がある。</p>
--

自己評価	外部評価	項目( ひまわり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念の共有として、施設の玄関に掲示している。職員は出勤した際に確認している。その上で職務にあたり、日々の報告時に再度認識出来ているかを話し合っている。	事業所理念は、パンフレットに掲載し事業所玄関にも掲示している。管理者は、理念について毎月の職員会議で説明し、理念に沿った支援をしている。	理念に沿った支援の実施状況が明確にされていない。今後は、実施状況を職員会議で話し合い評価することを期待する。また、「わかりやすい目標」を立て実施するなどの工夫も期待する。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ前は地域の行事への参加があったが、現在は難しい状況にある。少しずつ、施設周辺を散歩するなど外へ出る機会も増えており、すれ違った時など、言葉をかけ交流を深めていけるようにしている。	コロナ禍により、以前に参加していた地域行事も開催されず地域との交流が出来ていない。書面による運営推進会議では町内会長に資料を送付して事業所の状況を報告している。新型コロナウイルスが終息したら、近隣住民が事業所に来て、交流する行事を行いたいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	現状は難しいことが多いが、地域の方との交流や関わりは大切にしたいと考えている。地域の方々にも認知症の利用者様への理解をして頂ける努力を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	事故やヒヤリハットの報告を行い、助言等を頂きながら、サービス向上に活かしている。	コロナ禍で、運営推進会議は対面開催が出来ず書面での開催となっている。会議の資料は、町内会長・民生委員・地域包括支援センターに送付している。資料には事業所での利用者の活動状況、事故・ヒヤリハットの報告、新型コロナウイルス感染状況などを記載している。	運営推進会議報告書には、出席者からの意見が記載されていない。今後の書面開催会議では、出席者に資料を送るだけでなく、意見を提出して頂き、事業所で検討して事業所のサービス向上に反映することを期待する。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	コロナ前は隔月の運営会議に地域包括センター職員の出席をお願いしていた。現状は、書面での内容報告のみとなっているが、開催の見込みも可能となってきたので、今以上に協力関係を築いていけるように取り組んでいる。	運営推進会議の資料を地域包括支援センターに送付して事業所の状況を報告している。市役所職員が、定期的に事業所を訪問し、利用者に関する情報交換を行っている。	

自己評価	外部評価	項目( ひまわり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	定期的にミーティング時に、身体拘束についての勉強会を行っている。拘束となるような物品の使用（バンド等）は使用していない。	身体拘束に関する勉強会を毎月の職員会議で行い、特に行動抑制やスピーチロックについて管理者が説明し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。身体拘束がどうしても必要な事例については、家族に説明し同意を得て対応している。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者のお宅や事業所内での虐待が見逃ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	虐待防止法については施設にマニュアルが存在している。定期的なミーティングにおいて施設全体で意識を高め注意を払っている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現状、後見人制度を利用している方はおられないが、制度については必要な時に管理者が家族に説明出来るようにしている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に重要事項説明書・契約書に分かりやすく明示している。十分に時間をかけてしっかり説明し、質問があればその都度お答えし、同意を得ている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者様と日常の中で積極的に関わりを持ち、要望などについては応えられるようにしている。ご家族が来訪した際には、管理者自らご家族の思いを聞くようにしている。	コロナ禍であっても、利用者と家族の面会をできるだけ実施したいと考え、介護度が高い利用者は居室で、その他の利用者は玄関で面会を行っている。家族が面会に来た際に、利用者の状況を伝え、家族の要望を聞いている。近隣に住居がある利用者が帰宅したいとの要望には、短時間であれば応じている。	

自己評価	外部評価	項目( ひまわり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>年に1~2回の個人面談を行う事、ミーティング等も使用し、日頃より職員の声を聞く機会を設けている。</p>	<p>日常的に職員と話をして要望を聞き、毎月の職員会議でも意見を聞いている。職員からの要望で「背もたれが傾く車いす」や「物品の収納庫」を購入している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>キャリアパスを導入していますので、個人個人の目標や実績、勤務状況を把握し、職場の環境や条件の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>施設外への研修は現状行えていないが、パソコンで受けられる研修には積極的に参加をしている。施設内においてもミーティング時に研修会を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>研修会や会議などに参加し、同業者との交流を図っている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入所前に、職員一人一人が事前資料で生活リズムなどは把握できるようにしている。その上で、利用者本人の声を聞き、寄り添い、安心して生活して頂けるような信頼関係を築けるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( ひまわり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前にご家族と面談を行っている。その中で要望などを確認し、対応出来る所、出来ない所の説明も行っている。その上で不安をなるべく取り除けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用者とその家族としっかり向き合い、関わりを持とうとしている。その中で感じとれる事、利用者本人からの思いをくみ取れるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の生活の中で利用者が出来ることは積極的に声をかけて行って頂きながら、職員も手助けし、暖かい雰囲気作りに努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時には利用者の現状を伝え、家族との情報交換を行っている。来られない家族へは電話でお伝えし、利用者を支えていく上での人間関係を築く努力をしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナウイルスなどの感染対策をしっかりと説明した上で、ご家族の協力を得ながら出来る限りの支援をさせて頂いている。	遠方からの知人の訪問には丁寧に応じ、墓参りに行きたいとの要望は家族に伝え対応してもらっている。家族からの電話の取り次ぎや家族の面会はいつでも応じ、馴染みの関係が継続するよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目( ひまわり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションなどを定期的に行っており、日々の生活の中でも、利用者同士で楽しめる空間の提供を心がけている。トラブルがあった時は、職員が中に入り、臨機応変に対応し、孤立している方へ優しい声掛けを心がけています。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了してからも、必要であれば相談を受け、少しでもお力添えできるように努めている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の希望や意向に沿った対応を行うようにしている。利用者様それぞれのペースに合わせて生活して頂けるようにしている。	日常会話から把握した利用者の思いや意向は、連絡ノートや申し送りで情報を共有している。思いを伝えられない利用者については、日常生活をよく観察している。右向きの姿勢でなら熟睡できる、ズボンの中にシャツを入れる事例をケアプランに取り入れ、利用者のペースに合わせて過ごせるよう取り組んでいる。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	面会や日常生活の会話の中から、昔の話聞かせて頂き、情報の把握を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用者様の変化(言動・行動など)は個人のケースへ記録し、毎日の申し送りの時間を利用したり、職員全員が共有できるようにフロアノートなどへも記載しています。		

自己評価	外部評価	項目( ひまわり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者一人一人に対して担当を決めている。ケアカンファレンスの時に参加して頂き、現状の報告を行った上で、本人や家族の要望を取り入れながら納得のいくケアプランの作成に努めている。</p>	<p>ケアプランの実施状況は、計画作成者が居室担当者に意見を聞き、モニタリングとしてまとめている。ケアプラン更新時では、事前に家族の要望を書面で提出し、計画作成者と担当者が話し合っケアプランの見直しを行っている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個人のケース記録、日誌に記入を行い、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	/	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>訪問理容、利用者によっては訪問マッサージを受けておられます。</p>	/	
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナウイルスの感染拡大により、現状地域への行事は行えていないが、今後はまた参加して頂こうと思っている。</p>	/	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>当施設において、協力医が月2回往診があり、必要時や緊急時は常に連絡がとれるという事をお伝えしています。入居後もなじみのかかりつけ医を利用される事も可能という事は説明しています。外部の病院受診の際には、現状を書面にまとめ、お渡しして頂いています。</p>	<p>利用者と家族の要望でかかりつけ医を決めている。契約時に事業所の協力医について説明し、利用者のほとんどが協力医をかかりつけ医としている。協力医は月に2回訪問し健康状態を把握している。常勤看護師は夜間でも対応し、医師の支持を受け対応し、必要に応じて訪問看護師と連携して利用者を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( ひまわり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	施設看護師に状態の報告を行います。訪問看護ステーションとも契約を行っており、定期的に来て頂き対応している。夜間、休日も365日24時間体制がとれている。		
32		○入退院時の医療機関との協働  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医と入院先の医療機関との連携も取れており、迅速に情報提供を行えるように努めている。入院先へは定期的に連絡を入れ、早期の退院が出来るようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約の際に緊急時の対応、終末期のあり方について、施設が出来る事をしっかりと伝えている。入所後の対応については、その時々で現状を伝え、ご家族の意向を確認した上で承諾書も頂いている。	契約時に、重度化した際の対応について利用者に説明し、家族の意向を聞いている。重度化した際には、医師が家族に説明し、家族・管理者・看護師で今後の方針を決めそれに沿って支援している。看取り介護を行う際には、事業所の看護師と訪問看護師が連携してケアを行い、この2年間に2例の看取り事例がある。	
34		○急変や事故発生時の備え  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時の対応マニュアルが施設に備え付けており、定期的にミーティングなどで確認を行っている。		
35	13	○災害対策  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の協力を得て、年2回避難訓練、消火訓練を行っている。	年2回、夜間を想定した避難訓練を行い、避難経路の確認を行っている。関係者の連絡網を整備し、避難時の利用者の避難方法や持ち出す物品についても整備している。災害時の地域との協力関係を整えている。	



自己評価	外部評価	項目( ひまわり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	日々対応していく中で、職員間で情報の共有をし、プライバシーを損ねないよう意識している。入浴、排泄時なども利用者の立場になって行うようにしている。	人格尊重について事業所内研修を行い、職員の意見をレポートで提出をしてもらっている。居室でのおむつ交換では、ドアを閉めての実施を徹底している。高齢者を尊重し、利用者と職員が対等で同じ目線で話をすることを重視している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者ご本人の思いを尊重し、ご自身で決めて頂けるような問いかけをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様の体調を本人に確認し、利用者様本人のペースを大切に時間を過ごして頂けるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎朝、身だしなみを整えて頂いている。髪の毛をセットして頂くなど、なるべく鏡を見てご自身で整えて頂き、出来ない部分は職員が手助けしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	以前と比べ、認知症レベルも低下しており、食事作りへの参加は困難となっているが、流しへ一部の食器を運んで頂ける人にはお手伝いをして頂いている。常においしく召し上がって頂けるよう提供しています。	専任の食事担当者が、手作りの食事とヨーグルトを毎日提供し、誕生会の手作りケーキや季節に応じた食事を提供している。協力病院の栄養士が月に1回、訪問し、利用者の栄養状況をチェックし食事指導を行っている。	

自己評価	外部評価	項目( ひまわり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>状態にもよるが、一日1000～1200前後の水分背摂取量を目標としている。摂取量は水分、食事共に個人ケースへ記録している。嚥下状態などに合わせ、食事形態も対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアは毎食行っている。歯ブラシを使用出来る方は使用して頂き、使用出来ない方はモアブラシなどで清潔を保っている。月2回、歯科往診もあり、口腔内の状態を確認している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>認知症レベルの低下により、以前に比べてオムツ使用者の方が多くなった。身体状況によっては、トイレで座位をとれる方もおられる。その方はなるべく声掛けし、トイレへお連れしている。</p>	<p>排泄パターンを把握してトイレ誘導を行っている。おむつ使用者は、おむつ交換時に毎回、陰部洗浄を行い、尿路感染症罹患が減少し、施設内の尿臭が改善している。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎朝のヨーグルトと昼食後にフルーツを提供し、無理のない程度に適度な運動を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>利用者の身体状況に合わせた入浴方法を行っている。1人30分の時間で体調をみながら支援を行っている。</p>	<p>通常、週に2回入浴し、夏場は入浴以外に足浴を行い、白癬の感染予防を行っている。寝たきりの利用者は週に1回程度、ベッド上で全身清拭と洗髪を実施している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( ひまわり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々の生活リズムに合わせて、昼寝の時間をとる。居室でゆっくりして頂くなど、自身の時間も大切にしている。運動レクなども取り入れ、夜間の安眠へのお手伝いをしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬局との連携において、薬の重要性を理解し、利用者に納得して内服して頂いている。内服の変更があった時は、症状の改善や副作用の有無の確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	趣味をお持ちでない方も多いが、楽しく過ごして頂けるよう、色々なレクリエーションを用意している。花が好きな方が多いので、中庭で咲いている花の話をし、気分転換をはかっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナウイルス感染拡大にて、外出レクは現在中断している。今後、緩和されるにあたり、春には花見などの外出レクなど楽しみとなるような支援を行おうと検討している。	コロナ禍で外出が出来ない状況である。以前は花見などのドライブを行っていたが実施できていない。コロナ禍が終息したら、花見や野球の試合観戦を行いたいと考えている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	利用者様本人が金銭を管理することはありません。トラブルについてなどの説明を行い、ご家族にもご理解して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目( ひまわり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>利用者本人が手紙を書かれる事はないが、手紙が届いたらお渡ししている。電話をかけて頂く事はないが、かかって来たらご本人につなぎお話して頂いている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室内や共同スペースは清潔を保ち、温度と湿度にも気を配っている。中庭や玄関先には花や野菜を植えており、目で楽しんで頂いている。</p>	<p>神社を手作りし、施設内で初詣を楽しんでいる。利用者の作品を掲示している。居室は居室担当者が清掃を行い、トイレ・浴室・リビングは毎日、担当を決めて清掃している。トイレ・浴室・キッチンには週1回、殺菌消毒剤を使用して清潔に保つよう取り組んでいる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>天気の良い日は中庭で日向ぼっこをされている。施設内は自由に行き来出来るため、両フロアーの利用者同士が仲良く会話を楽しまれている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入所時、自宅で利用者本人が使用していた馴染みの物を持って来て頂き、少しでも落ち着いて安心出来る場所になるよう工夫している。</p>	<p>居室はたたみが敷かれていて、家庭的な雰囲気となるよう配慮している。今まで使用していたタンスや椅子などの家具を持ち込み、愛用の人形やぬいぐるみを持参する利用者もいる。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>なるべく自立した生活を1日でも長く送って頂けるよう、手すりなどを設置し、居室も迷わないようにネームプレートを許可を得て使用している。</p>		

V アウトカム項目( ひまわり ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念の共有として、施設の玄関に掲示している。職員は出勤した際に確認している。その上で職務にあたり、日々の報告時に再度認識出来ているかを話し合っている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ前は地域の行事への参加があったが、現在は難しい状況にある。少しずつ、施設周辺を散歩するなど外へ出る機会も増えており、すれ違った時など、言葉をかけ交流を深めていけるようにしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	現状は難しいことが多いが、地域の方との交流や関わりは大切にしたいと考えている。地域の方々にも認知症の利用者様への理解をして頂ける努力を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	事故やヒヤリハットの報告を行い、助言等を頂きながら、サービス向上に活かしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	コロナ前は隔月の運営会議に地域包括センター職員の出席をお願いしていた。現状は、書面での内容報告のみとなっているが、開催の見込みも可能となってきているので、今以上に協力関係を築いていけるように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>定期的にミーティング時に、身体拘束についての勉強会を行っている。拘束となるような物品の使用（バンド等）は使用していない。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止法については施設にマニュアルが存在している。定期的なミーティングにおいて施設全体で意識を高め注意を払っている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現状、後見人制度を利用している方はおられないが、制度については必要な時に管理者が家族に説明出来るようにしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に重要事項説明書・契約書に分かりやすく明示している。十分に時間をかけてしっかり説明し、質問があればその都度お答えし、同意を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者様と日常の中で積極的に関わりを持ち、要望などについては応えられるようにしている。ご家族が来訪した際には、管理者自らご家族の思いを聞くようにしている。</p>		



自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>年に1~2回の個人面談を行う事、ミーティング等も使用し、日頃より職員の声を聞く機会を設けている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>キャリアパスを導入していますので、個人個人の目標や実績、勤務状況を把握し、職場の環境や条件の整備に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>施設外への研修は現状行えていないが、パソコンで受けられる研修には積極的に参加をしている。施設内においてもミーティング時に研修会を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>研修会や会議などに参加し、同業者との交流を図っている。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>入所前に、職員一人一人が事前資料で生活リズムなどは把握できるようにしている。その上で、利用者本人の声を聞き、寄り添い、安心して生活して頂けるような信頼関係を築けるように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前にご家族と面談を行っている。その中で要望などを確認し、対応出来る所、出来ない所の説明も行っている。その上で不安をなるべく取り除けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用者とその家族としっかり向き合い、関わりを持とうとしている。その中で感じとれる事、利用者本人からの思いをくみ取れるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の生活の中で利用者が出来ることは積極的に声をかけて行って頂きながら、職員も手助けし、暖かい雰囲気作りに努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時には利用者の現状を伝え、家族との情報交換を行っている。来られない家族へは電話でお伝えし、利用者を支えていく上での人間関係を築く努力をしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	コロナウイルスなどの感染対策をしっかりと説明した上で、ご家族の協力を得ながら出来る限りの支援をさせて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	レクリエーションなどを定期的に行っており、日々の生活の中でも、利用者同士で楽しめる空間の提供を心がけている。トラブルがあった時は、職員が中に入り、臨機応変に対応し、孤立している方へ優しい声掛けを心がけています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約が終了してからも、必要であれば相談を受け、少しでもお力添えできるように努めている。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者様の希望や意向に沿った対応を行うようにしている。利用者様それぞれのペースに合わせて生活して頂けるようにしている。		
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	面会や日常生活の会話の中から、昔の話を聞かせて頂き、情報の把握を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用者様の変化(言動・行動など)は個人のケースへ記録し、毎日の申し送りの時間を利用したり、職員全員が共有できるようにフロアノートなどへも記載しています。		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者一人一人に対して担当を決めている。ケアカンファレンスの時に参加して頂き、現状の報告を行った上で、本人や家族の要望を取り入れながら納得のいくケアプランの作成に努めている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個人のケース記録、日誌に記入を行い、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>訪問理容、利用者によっては訪問マッサージを受けておられます。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナウイルスの感染拡大により、現状地域への行事は行えていないが、今後はまた参加して頂こうと思っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>当施設において、協力医が月2回往診があり、必要時や緊急時は常に連絡がとれるという事をお伝えしています。入居後もなじみのかかりつけ医を利用される事も可能という事は説明しています。外部の病院受診の際には、現状を書面にまとめ、お渡しして頂いています。</p>		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	施設看護師に状態の報告を行います。訪問看護ステーションとも契約を行っており、定期的に来て頂き対応している。夜間、休日も365日24時間体制がとれている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医と入院先の医療機関との連携も取れており、迅速に情報提供を行えるように努めている。入院先へは定期的に連絡を入れ、早期の退院が出来るようにしている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約の際に緊急時の対応、終末期のあり方について、施設が出来る事をしっかりと伝えている。入所後の対応については、その時々で現状を伝え、ご家族の意向を確認した上で承諾書も頂いている。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時の対応マニュアルが施設に備え付けており、定期的にミーティングなどで確認を行っている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の協力を得て、年2回避難訓練、消火訓練を行っている。		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	日々対応していく中で、職員間で情報の共有をし、プライバシーを損ねないよう意識している。入浴、排泄時なども利用者の立場になって行うようにしている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	利用者ご本人の思いを尊重し、ご自身で決めて頂けるような問いかけをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	利用者様の体調を本人に確認し、利用者様本人のペースを大切に時間を過ごして頂けるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎朝、身だしなみを整えて頂いている。髪の毛をセットして頂くなど、なるべく鏡を見てご自身で整えて頂き、出来ない部分は職員が手助けしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	以前と比べ、認知症レベルも低下しており、食事作りへの参加は困難となっているが、流しへ一部の食器を運んで頂ける人にはお手伝いをして頂いている。常においしく召し上がって頂けるよう提供しています。		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>状態にもよるが、一日1000～1200前後の水分背摂取量を目標としている。摂取量は水分、食事共に個人ケースへ記録している。嚥下状態などに合わせ、食事形態も対応している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアは毎食行っている。歯ブラシを使用出来る方は使用して頂き、使用出来ない方はモアブラシなどで清潔を保っている。月2回、歯科往診もあり、口腔内の状態を確認している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>認知症レベルの低下により、以前に比べてオムツ使用者の方が多くなった。身体状況によっては、トイレで座位をとれる方もおられる。その方はなるべく声掛けし、トイレへお連れしている。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎朝のヨーグルトと昼食後にフルーツを提供し、無理のない程度に適度な運動を行っている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>利用者の身体状況に合わせた入浴方法を行っている。1人30分の時間で体調をみながら支援を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	個々の生活リズムに合わせて、昼寝の時間をとる。居室でゆっくりして頂くなど、自身の時間も大切にしている。運動レクなども取り入れ、夜間の安眠へのお手伝いをしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬局との連携において、薬の重要性を理解し、利用者に納得して内服して頂いている。内服の変更があった時は、症状の改善や副作用の有無の確認を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	趣味をお持ちでない方も多いが、楽しく過ごして頂けるよう、色々なレクリエーションを用意している。花が好きな方が多いので、中庭で咲いている花の話をし、気分転換をはかっている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナウイルス感染拡大にて、外出レクは現在中断している。今後、緩和されるにあたり、春には花見などの外出レクなど楽しみとなるような支援を行おうと検討している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	利用者様本人が金銭を管理することはありません。トラブルについてなどの説明を行い、ご家族にもご理解して頂いている。		



自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>利用者本人が手紙を書かれる事はないが、手紙が届いたらお渡ししている。電話をかけて頂く事はないが、かかって来たらご本人につなぎお話して頂いている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室内や共同スペースは清潔を保ち、温度と湿度にも気を配っている。中庭や玄関先には花や野菜を植えており、目で楽しんで頂いている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>天気の良い日は中庭で日向ぼっこをされている。施設内は自由に行き来出来るため、両フロアーの利用者同士が仲良く会話を楽しまれている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入所時、自宅で利用者本人が使用していた馴染みの物を持って来て頂き、少しでも落ち着いて安心出来る場所になるよう工夫している。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>なるべく自立した生活を1日でも長く送って頂けるよう、手すりなどを設置し、居室も迷わないようにネームプレートを許可を得て使用している。</p>		

V アウトカム項目( さくら ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームひだまり

作成日 令和5年4月21日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念に沿った支援に対するの取り組みが曖昧である。	月に1度のミーティングにおいて理念に沿った支援に対する目標を立て職員全体で共有し実践する。	月に1度のミーティングで職員全体での理念への理解を確認し立てた目標に対して反省も交えて話し合っていく。	3か月
2	3	運営推進会議報告書において外部からの意見の記載がない。	報告書に対する意見をもらいサービス向上に繋げるためにも外部とのコミュニケーションを増やしていく。	社会の動きをみながらではあるが運営推進会議を再開し意見を頂きその上でサービス向上に繋げていく。	6か月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。